

Qualify12 へアップグレードする5つの理由

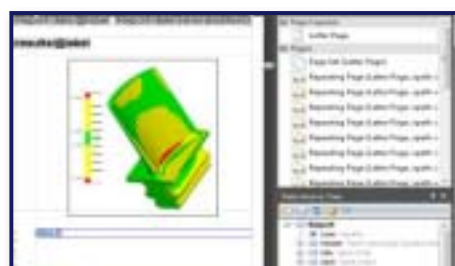
1 経験値の向上

最先端のリボンインターフェイスで、Qualify はより覚えやすく且つ使い易くなりました。複雑なダイアログがシンプルなりボンコマンドに置換われました。“はじめに”のページでは、最近使用したファイルやよく使用する機能へのアクセスが直ぐに行えます。ツールチップの採用により、直ぐにコマンドの説明を参照でき、ユーザーはワークフローを反映したリボンにカスタマイズ出来ます。



2 レポートカスタム

Qualify はレポートデザイナーを備え、簡略化、作成、編集、そしてテンプレートのシェアをすることが出来るようになりました。簡単なユーザーインターフェイスと新しいレポートフォーマットで、より速く、より簡単で、よりパワフルなレポート作成を可能としました。



3 3D PDF レポート

Qualify は、3D PDF レポートングにより検査結果のコミュニケーションの在り方を変えます。1回のクリックで、偏差カラーマッピングされ、アノテーション付けされたマウス操作可能な 3D モデルを出力します。この 3D レポートは、無償の Adobe 社製 Acrobat リーダーを用いることによりどなたでもご覧になることが出来ます。



4 ハードウェアとのリンク

Qualify12 は、機械の整列、ボルト周接触測定、そしてプローブで取り込まれたフィーチャの寸法測定といった新しい機能を備えています。さらに、新装備されたハードウェアプラグインやファイルフォーマットも御座います。



5 新しいアライメントと解析機能

重み付け RPS 整列により、ユーザーはアライメントターゲットにトレランスの優先度を設けることが可能となりました。ハイポイントフィッティングオプションは、接触フィーチャのより精度の高いフィッティングを可能とします。新アノテーションフィーチャや点座標機能は検査解析作業を簡素化します。

